

栃木市監査委員告示第1号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定例監査を、都市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり公表いたします。

令和2年1月17日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 茂 呂 健 市

1. 監査の実施日 令和元年12月25日

2. 監査の対象 産業振興部

商工振興課 観光振興課 農業振興課

農林整備課 産業基盤整備課

大平産業振興課 藤岡産業振興課

都賀産業振興課 西方産業振興課

岩舟産業振興課

3. 監査の方法

令和元年11月末日までに執行された事務事業について、関係する帳簿類、証ひょう書類の提出を求め、その効率性と適法性等を照査、検討し、関係職員の説明を聴取して実施した。

4. 監査の結果

次のとおり

産業振興部

◎ 商工振興課

1. 事務組織及び職員

商工振興課には2係が置かれ、課長ほか7名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

商業金融係では、大規模小売店舗立地法事務、産業支援補助事業、中小企業融資保証事業、中小企業向け資金融資事業、ビジネスプランコンテスト事業、国庫補助事業プレミアム付商品券事業等が行われた。

工業労働係では、陸砂利採石監視事業、工場立地法に係る事務、勤労者総合福祉センター管理運営委託事業、勤労者福祉サービスセンター支援事業、勤労青少年ホーム管理運営委託事業、勤労者体育センター管理運営委託事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 3,337,567,000 円に対し、収入済額 30,985,298 円で 0.93%の収入率である。

その主なものは、プレミアム付商品券事務費補助金である。

一般会計の歳出は、予算現額 3,666,301,000 円に対し、支出負担行為額 2,145,084,084 円で 58.51%の執行率である。

その主なものは、勤労青少年ホーム指定管理委託料、勤労者総合福祉センター指定管理委託料、中小企業創業資金融資預託金、中小企業向け資金融資信用保証料補助金、中小企業緊急景気対策特別資金融資預託金、中小企業向け資金融資預託金、プレミアム付商品券発行事業業務委託料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 観光振興課

1. 事務組織及び職員

観光振興課には2係が置かれ、課長ほか9名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

観光企画係では、鯉飼育管理事業、観光振興宣伝事業、観光行事補助金事務、観光情報物産館管理運営事業、横山郷土館管理運営事業、「蔵の街シナジーマルシェ」事業等が行われた。

フィルムコミッション・イベント係では、山車会館管理運営委託事業、蔵の街観光館管理運営委託事業、観光行事負担金事務、とちぎ江戸料理誘客促進プロジェクト事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 8,686,000 円に対し、収入済額 4,443,178 円で 51.15% の収入率である。

その主なものは、蔵の街観光館テナント使用料、横山郷土館入館料である。

一般会計の歳出は、予算現額 126,935,000 円に対し、支出負担行為額 94,732,379 円で 74.63% の執行率である。

その主なものは、山車会館指定管理委託料、蔵の街観光館指定管理委託料、栃木市観光協会事業補助金、とちぎ江戸料理誘客促進プロジェクト業務委託料、観光情報物産館指定管理委託料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 農業振興課

1. 事務組織及び職員

農業振興課には3係が置かれ、課長ほか13名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

農政係では、栃木県南地方卸売市場事務委託事業、栃木市農業再生協議会事業、経営所得安定対策直接支払推進事業、新規就農支援事業等が行われた。

振興係では、稲等病虫害防除事業、首都圏農業確立対策事業、畜産振興事業、直売所出荷農家流通支援事業、農畜産業災害復旧支援事業等が行われた。

農用地係では、農業経営基盤強化促進対策事業、人・農地プラン推進事業、栃木市農業公社運営補助金事業、担い手農地集積促進補助金事務等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 125,629,000 円に対し、収入済額 45,323,500 円で 36.08%の収入率である。

その主なものは、首都圏農業確立対策事業費補助金、経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金である。

一般会計の歳出は、予算現額 249,343,000 円に対し、支出負担行為額 113,179,085 円で 45.39%の執行率である。

その主なものは、経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金、農業次世代人材投資事業補助金、強い農業・担い手づくり総合支援交付金、新食肉センター整備事業補助金、栃木市農業公社運営費等補助金である。

一般会計の歳入（繰越明許）は、予算現額 40,924,000 円に対し、収入済額 8,797,000 円で 21.50%の収入率である。

その内容は、被災農業者向け経営体育成支援事業費補助金である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額 43,012,000 円に対し、支出負担行為額 40,438,000 円で 94.02%の執行率である。

その内容は、被災農業者向け経営体育成支援事業費補助金、担い手確保・経営強化支援事業費補助金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 農林整備課

1. 事務組織及び職員

農林整備課には3係が置かれ、課長ほか8名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

農村整備係では、多面的機能事業、県単独農業農村整備事業、市単独農業農村整備事業、水利施設等保全高度化事業負担金事務、農地災害復旧事業等が行われた。

林務係では、出流ふれあいの森運営委託事業、森を育む人づくり事業、林業施設災害復旧事業等が行われた。

獣害対策係では、有害鳥獣対策事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 297,188,000 円に対し、収入済額 108,320,514 円で 36.45%の収入率である。

その内容は、多面的機能支払推進交付金である。

一般会計の歳出は、予算現額 564,273,000 円に対し、支出負担行為額 129,848,141 円で 23.01%の執行率である。

その主なものは、多面的機能支払交付金、木野地（1）地区舗装工事請負費、出流ふれあいの森指定管理委託料、有害鳥獣対策事業報奨金、有害鳥獣駆除業務委託料、獣害対策設備設置費補助金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 産業基盤整備課

1. 事務組織及び職員

産業基盤整備課には2係が置かれ、課長ほか6名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

企業立地係では、企業誘致事業、宇都宮西中核工業団地事務組合に係る事務、企業立地促進事業等が行われた。

基盤整備係では、栃木インター周辺開発事業、佐野藤岡インター周辺開発事業、千塚産業団地自然環境モニタリング調査事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 1,207,000 円に対し、収入済額 1,220,901 円で 101.15%の収入率である。

その主なものは、宇都宮西中核工業団地鉄塔設置に伴う土地賃借料、工業団地線下補償料である。

一般会計の歳出は、予算現額 516,673,000 円に対し、支出負担行為額 168,344,961 円で 32.58%の執行率である。

その主なものは、立地奨励金、宇都宮西中核工業団地事務組合負担金、栃木インター西地区基本設計業務委託料、千塚産業団地自然環境モニタリング調査業務委託料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 大平産業振興課

1. 事務組織及び職員

大平産業振興課には2係が置かれ、課長ほか9名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、農業経営基盤強化促進対策事業、多面的機能事業、県単独農業農村整備事業、農業施設災害復旧事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、工業開発事業、プラッツおおひら管理運営事務、観光施設管理事業、観光行事負担金事務等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 7,257,000 円に対し、収入済額 2,392,282 円で 32.97%の収入率である。

その主なものは、かかしの里使用料、プラッツおおひら自動販売機設置収入である。

一般会計の歳出は、予算現額 255,422,000 円に対し、支出負担行為額 100,270,387 円で 39.26%の執行率である。

その主なものは、大平みずほ企業団地用地購入費償還金、大平町商工会補助金、プラッツおおひら指定管理委託料、なつこい実行委員会負担金、多面的機能支払交付金、大中寺・清水寺の森公衆トイレ改修工事費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 藤岡産業振興課

1. 事務組織及び職員

藤岡産業振興課には2係が置かれ、課長ほか8名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、多面的機能事業、西前原たん水防除事業、有害鳥獣対策事業、道の駅みかも管理運営事業、農業施設災害復旧事業、農地災害復旧事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、観光資源開発活動補助事業、観光行事負担金事務等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 20,843,000 円に対し、収入済額 12,607,176 円で 60.49%の収入率である。

その主なものは、道の駅みかも自動販売機設置収入、道の駅みかも指定管理者市納入金である。

一般会計の歳出は、予算現額 136,290,000 円に対し、支出負担行為額 69,174,176 円で 50.76%の執行率である。

その主なものは、藤岡町商工会事業費補助金、渡良瀬ブルーコース実行委員会負担金、多面的機能支払交付金、西前原排水機場保守点検業務委託料、道の駅みかもジェラート製造機購入費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 都賀産業振興課

1. 事務組織及び職員

都賀産業振興課には2係が置かれ、課長ほか6名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、農業経営基盤強化促進対策事業、多面的機能事業、生出宿里の駅施設管理事務、有害鳥獣対策事業、県単独農業農村整備事業、農地災害復旧事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、観光資源開発活動補助事業、観光行事負担金事務等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 523,000 円に対し、収入済額 50,280 円で 9.61%の収入率である。

その内容は、行政財産使用料である。

一般会計の歳出は、予算現額 137,428,000 円に対し、支出負担行為額 39,604,471 円で 28.82%の執行率である。

その主なものは、都賀町商工会事業費補助金、つがの里花まつり負担金、多面的機能支払交付金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 西方産業振興課

1. 事務組織及び職員

西方産業振興課には2係が置かれ、課長ほか5名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、県単独農業農村整備事業、有害鳥獣対策事業、農産物加工所管理運営事業、道の駅にしかた管理運営事業、農業施設災害復旧事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、金崎桜堤管理事業、観光行事負担金事務等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 16,847,000 円に対し、収入済額 10,311,232 円で 61.21%の収入率である。

その主なものは、道の駅にしかた自動販売機設置収入、道の駅にしかた指定管理者市納入金である。

一般会計の歳出は、予算現額 135,990,000 円に対し、支出負担行為額 32,346,444 円で 23.79%の執行率である。

その主なものは、西方商工会事業費補助金、県単独農業農村整備事業補助金、道の駅にしかた指定管理委託料、道の駅にしかたジェラート製造機購入費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎岩舟産業振興課

1. 事務組織及び職員

岩舟産業振興課には2係が置かれ、課長ほか7名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、多面的機能事業、有害鳥獣対策事業、むらづくり施設管理運営委託事業、農地耕作条件改善事業、観光農園いわふね支援事業、農業施設災害復旧事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、観光施設管理事業、観光行事負担金事務、岩船山公衆トイレ改修事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 3,940,000 円に対し、収入済額 1,875,704 円で 47.61%の収入率である。

その主なものは、農業施設敷地使用料である。

一般会計の歳出は、予算現額 130,994,000 円に対し、支出負担行為額 45,350,191 円で 34.62%の執行率である。

その主なものは、岩舟町商工会事業費補助金、いわふね夏まつり実行委員会負担金、多面的機能支払交付金、むらづくり施設指定管理委託料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。